

# 日本宗教学会

# 第78回学術大会

2019年9月13日(金)～15日(日)

## 【会場】

帝京科学大学（千住キャンパス）

本館・7号館

# 「お知らせ」と「お願い」

1. 受付手続きの際、必ず名札をお受け取りください。名札は、常に身に付け、お帰りの際にご返却ください。
2. **理事会承認後の発表題目の変更、パネル発表の構成員・発表順の変更は一切認められません。**  
プログラムと同一にしてください。
3. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においでください。
4. **申し込み時にパソコン用プロジェクターの使用を申請された方へ**  
個人発表の場合は発表の2番前、パネル発表の場合は開始20分前までに、会場係にお申し出ください。
5. 発表時に配布する資料は、数に余裕をもってご用意の上、会場係にお渡しください。  
(会場での複写は受け付けません。)
6. **発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。**
  - ・個人発表 発表15分、質問5分、計20分(初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分)
  - ・パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保ください。  
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの準備に時間が必要なことを考慮して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いいたします。
8. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表して頂きます。
9. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をしてください。
10. **個人発表の『宗教研究』別冊用要旨について**  
19頁『『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意』に従って作成し、9月20日(金)までに、編集委員会に送信してください。
11. **パネル発表の『宗教研究』別冊用要旨について**  
19頁『『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意』に従って作成し、代表者が、全員分をとりまとめて、9月20日(金)までに、編集委員会に送信してください。
12. 会場の配置については、20・21頁をご覧ください。
13. パネル発表時の机はご自由に並び替えてください。なお、終了後の原状回復にご協力お願い申し上げます。

|                |                                    |
|----------------|------------------------------------|
| 大会受付           | (全日) 本館1階 エントランスホール                |
| 大会実行委員会本部・学会本部 | (全日) 本館4階 第4会議室                    |
| クローク           | (金) 本館3階1309教室 (土・日) 本館3階1301-02教室 |
| 会員休憩室          | (金) 本館3階1310教室 (土・日) 本館3階1312教室    |

# 大会日程

## 9月13日(金)

|          |            |             |
|----------|------------|-------------|
| 学会賞選考委員会 | 本館 1301 教室 | 12:30-13:30 |
| 庶務委員会    | 本館 1302 教室 | 13:00-14:30 |
| 国際委員会    | 本館 1303 教室 | 13:00-14:00 |
| 情報化委員会   | 本館 1304 教室 | 13:00-14:00 |
| 開会式      | 本館 1311 教室 | 14:30-14:40 |

|          |            |             |
|----------|------------|-------------|
| 公開シンポジウム | 本館 1311 教室 | 14:40-17:40 |
|----------|------------|-------------|

テーマ 「宗教と科学の新たな世界」

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 基調講演者   | 石黒 浩 (大阪大学大学院基礎工学研究科教授)    |
| レスポナント1 | 木村 武史 (筑波大学大学院人文社会科学研究科教授) |
| レスポナント2 | 沖永 宜司 (帝京大学教授)             |
| 司会・趣旨説明 | 濱田 陽 (帝京大学教授)              |

|     |            |             |
|-----|------------|-------------|
| 理事会 | 本館 1310 教室 | 18:00-20:30 |
|-----|------------|-------------|

## 9月14日(土)

|              |            |             |
|--------------|------------|-------------|
| 研究発表(個人)     | 本館 各会場     | 9:00-12:40  |
| 評議員会         | 本館 1311 教室 | 12:40-14:00 |
| 研究発表(個人、パネル) | 本館 各会場     | 14:00-16:00 |
| 会員総会         | 本館 1311 教室 | 16:20-17:40 |

|     |              |             |
|-----|--------------|-------------|
| 懇親会 | 7号館 5階カフェテリア | 18:00-20:00 |
|-----|--------------|-------------|

## 9月15日(日)

|               |            |             |
|---------------|------------|-------------|
| 研究発表(個人)      | 本館 各会場     | 9:00-12:15  |
| 編集委員会         | 本館 1303 教室 | 12:15-13:00 |
| プログラム委員会      | 本館 1304 教室 | 12:15-13:00 |
| 男女共同参画・若手支援WG | 本館 1305 教室 | 12:15-13:00 |
| 研究発表(パネル)     | 本館 各会場     | 13:15-15:15 |

---

### 国際委員会企画

2020年IAHR世界大会(ニュージーランド・オタゴ大学)参加・英語発表に関する説明会

---

9月15日(日) 12:30-13:10 場所: 本館 1311 教室

国際委員が、英語による模擬発表と質疑応答を行います。

若手研究者や大学院生等で、国際学会での英語発表について質問がある方は、ご参加ください。

# 開催校からのお知らせ

本年度の学術大会へご参加いただくにあたり、開催校としてお知らせしておきたいことがございます。ご一読くださいますようお願い申し上げます。

- (1) 会場には大会参加者用の駐車場はございません。自家用車での来場はご遠慮願います。やむを得ない事情により自家用車で来場されたい場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。なお、会場へのアクセス、キャンパス地図については裏表紙をご参照ください。
- (2) 発表会場は本館の教室を使用します。会場ごとに部屋の大小や机の配置等に大きな違いがあります。会場によっては、狭すぎる、あるいは広すぎると感じられることがあるかもしれませんが、ご理解ください。
- (3) クロークでは、お荷物をお預かりする用意はございますが、貴重品・衣服については預かりかねます旨、ご了承ください。
- (4) 本館 2 階のカフェテリアは、金曜日と土曜日（日曜日は休業）は一般学生のために営業しておりますが、大会参加者のご利用はできません。近隣には各種飲食店、コンビニエンスストア、ファミリーレストランがありますので、そちらをご利用ください。会員休憩室では、飲食が可能です。
- (5) 会場内に出版社による書籍展示ブースを設けています（本館 4 階 1407 教室等）。
- (6) 会場にはコピー機の用意がございませんので、配布資料などは部数に余裕をもって予め各自でご用意ください。大学の近くにファミリーマートがありますが、時間帯によっては混雑する恐れがあります。
- (7) どの会場でも WiFi は利用できません。ポケット WiFi やテザリング機器等をご自分でご用意ください。部屋によっては電波が入りにくい部屋もございます。
- (8) 学内は全面禁煙です。ご協力をお願いします。
- (9) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページを通じてお知らせします。
- (10) **大会直前、および期間中に緊急に連絡する必要がある場合の連絡先は、大会ホームページで、ご確認ください。**
- (11) 本大会は、帝京科学大学創立 30 周年記念事業の後援を得て開催させていただいております。皆様のご理解とご協力のほど、よろしくようお願い申し上げます。

## パソコン用プロジェクターの使用を申し込まれた方へ

発表申込の際に、パソコン用プロジェクターの使用を申し込まれた方は、以下の注意を熟読してください。

(発表申込時に、使用を申し込まれなかった場合、プロジェクターの使用は認められません。)

発表会場に常設のパソコンはありません。プロジェクターを使用する場合は、必ず、各自でパソコンを持参してください。持参されない場合、プロジェクターの使用はできませんので、ご注意ください。

発表会場で使用するパソコン用プロジェクターは、HDMI (パソコンについている下図の右の形状の穴)に対応しています。

VGA との接続には、原則的に開催校で準備するコネクタを使用させていただきます。

DVI、USB などの接続方式には対応していません。

Macintosh 等をご使用の方は、右図のような HDMI への変換アダプターをご持参ください。その上でデータを USB メモリに保存して持参していただくことを推奨します。



機器の接続や動作について完全な保証は難しいため、ご心配な方は事前に大会実行委員会にご相談ください。

第78回学術大会実行委員会

## 公開シンポジウム

# 宗教と科学の新たな世界

### 趣旨

近年のコンピューターサイエンスの急激な発達などにより、人の知的、身体的営みの多くは、人工知能やロボットに代表されるような、コンピューターの機能にしたいに置き換えられると考えられてきています。こうした状況の中で、宗教も人の知的、身体的営みのひとつだとすれば、宗教と科学は今後互いにどのように位置づけられて行くのでしょうか。

今回のシンポジウムでは、講演者 1 名とレスポナント 2 名とが、科学技術の発展の中で変化して行く宗教の位置と役割、可能性について議論します。科学技術の中に、人の営みを人工的、物的な働きによって置き換えて行くという特徴があるとすれば、それは宗教という営みをも、どこまで、どのように作り変えて行くのでしょうか。そこでは知能、身体、コミュニケーション、そして人を超えた超越のような体験までが、この先どうなっていくかを考え直す必要に迫られることでしょう。

シンポジウムでは、ロボット工学と人工知能の立場から、それらの役割と宗教との関係について提題をいただき、宗教学や宗教哲学の立場からその問題提起に回答しつつ、現代そして未来の展望について考察します。

多くの会員のご参加をお待ちしております。

**日時** 2019 年 9 月 13 日 (金) 14 : 40 - 17 : 40 (14 : 00 開場)

**会場** 本館 1311 教室 (満員の場合、隣室 1312 教室でも映像を見ることができます)

**次第** 趣旨説明・司会 濱田 陽 (帝京大学教授)

基調講演 石黒 浩 (大阪大学大学院基礎工学研究科教授)

レスポナント 1 木村 武史 (筑波大学大学院人文社会科学研究科教授)

レスポナント 2 沖永 宜司 (帝京大学教授)

休憩

ディスカッション

## 登壇者紹介

石黒 浩／いしぐろ ひろし（ロボット学者／大阪大学教授）

1963年生まれ。大阪大学基礎工学研究科博士課程修了。工学博士。京都大学情報学研究科助教授、大阪大学工学研究科教授を経て、2009年より大阪大学基礎工学研究科教授。ATR 石黒浩特別研究所客員所長（ATR フェロー）。

社会で活動するロボットの実現を目指し、知的システムの基礎的な研究を行う。ロボット研究においては、従来、ナビゲーションやマニピュレーションという産業用ロボットにおける課題が研究の中心であったが、インタラクションという日常活動型ロボットにおける課題を世界に先駆けて提案し、研究に取り組んできた。そして、これまでに人と関わるヒューマノイドやアンドロイド、自身のコピーロボットであるジェミノイドなど多数のロボットや、それらの活動を支援し人間を見守るためのセンサネットワークを開発してきた。

2011年に大阪文化賞を受賞。また、2015年には、文部科学大臣表彰受賞およびシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム知識賞を受賞。2017年より大阪大学名誉教授。

主な著書に『ロボットとは何か』（講談社現代新書、2009年）、『どうすれば「人」を創れるか』（新潮社、2011年）、『アンドロイドは人間になれるか』（文春新書、2015年）などがある。

濱田 陽／はまだ よう（帝京大学教授）

1968年徳島県生まれ。京都大学法学部卒、京都大学大学院人間・環境学研究科文化・地域環境学専攻修士、同博士（人間・環境学）。McGill University 宗教学部客員研究員、国際日本研究文化センター講師（文明研究プロジェクト日本文明研究担当）等を歴任。法政大学国際日本学研究所客員所員、賀川豊彦記念松沢資料館客員研究員、日韓次世代学術フォーラム諮問教授。

主な研究領域は比較宗教文化、国際日本研究、文明論。

主要著書・近著論文に『共存の哲学—複数宗教からの思考形式』（弘文堂、2005年）、『日本十二支考—文化の時空を生きる』（中央公論新社、2017年）、「つくられたものの超越性」、「生なる死—文化、文明再生の礎」、「人工知能は生老病死を救うか」、「ホモ・レリギオ—人工知能、合成生物学と揺れる信念の彼方」など。

木村 武史／きむら たけし（筑波大学教授）

1962年東京都生まれ。シカゴ大学大学院神学校博士課程宗教学専攻修了、Ph. D. 1998年。

本公開シンポジウムに関連する主な研究業績は以下の通り。「ロボット・AIと宗教についての序論的考察」（津曲・細田編『媒介物の宗教史（上）』リトン、2019年）、「Roboethical Arguments and Applied Ethics: Being a Good Citizen」（Yoshiyuki et al., eds., *Cybernetics: Fusion of Human, Machine and Information Systems*, Springer Japan, 2014）、「ロボティックスの神話とロボエシックスの萌芽」（松村・山中編『神話と現代』リトン、2007年）、「Masahiro Mori's Buddhist philosophy of robot?」、「Robotics and AI in the sociology of religion: A Human in imago roboticae」、「アメリカにおけるロボット技術の軍事利用に関するロボエシックス的一考察」、「双子のロボット技術—福祉用ロボットスーツ HAL R と軍事用エクソスケルトン」など。

沖永 宣司／おきなが たかし（帝京大学教授）

1969年東京都生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。博士（人間・環境学）。東洋大学国際哲学研究センター客員研究員。

物質や精神といった、世界を根本的に区別する概念成立以前の立ち位置から、物質から意識がなぜ生じるか、自由意志は存在するか、私はなぜ存在しているのか、意識をコンピューターにアップロードするとはいかなることか、といった形而上学的な問題を研究テーマのひとつにしている。

主要著書に『始原と根拠の形而上学』（北樹出版、2019年）、『心の形而上学—ジェイムズ哲学とその可能性』（創文社、2007年）、『無と宗教経験—禅の比較宗教学的考察』（創文社、2002年）、『脳科学は宗教を解明できるか？』（共著、春秋社、2012年）など。

# 第1部会 (3階 1310教室)

9月14日(土)

## 【午前】

- |                |                                    |                      |
|----------------|------------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 経済神学の歴史的発展過程                       | 清水 俊毅 (東大)           |
| 2. 9:25-9:45   | マクルーハンと宗教的空間                       | 星山玲於奈 (聖学院大)         |
| 3. 9:50-10:10  | 合理的選択理論における宗教概念-批判的考察-             | イーリヤ・ムスリン (日大)       |
| 4. 10:15-10:35 | エリアーデ批判以後の日米宗教学の道程と課題              | 藤井 修平 (宗教情報リサーチセンター) |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教研究における視覚化と可触化によるコラボレーションの展開      | 土井 裕人 (筑波大)          |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教復興、民族主義、ポストセキュラリズム               | 近藤 光博 (日本女子大)        |
| 7. 11:30-11:50 | デジタル学術空間と宗教研究-AAR Guidelines への応答- | 下田 正弘 (東大)           |
| 8. 11:55-12:15 | 最近の「宗教現象学」をめぐるいくつかの問題              | 星川 啓慈 (大正大)          |
| 9. 12:20-12:40 | 預言者・神秘家・老賢者-宗教者の類型を摸索する-           | 関 一敏 (九大)            |

## 【午後】パネル

|                          |                              |                   |
|--------------------------|------------------------------|-------------------|
| 近代西洋的「宗教」概念をヨーロッパから相対化する |                              | 代表者：伊達 聖伸         |
| 14:00-16:00              | 西欧型政教関係の課題の変遷と分節化-英独仏西を比較する- | 伊達 聖伸 (東大)        |
|                          | イタリア型政教関係の特殊性-「ライチタ」と「ライシテ」- | 江川 純一 (明治学院大)     |
|                          | ロシアの「多宗派公認体制」からみる西欧の政教関係     | 井上まどか (清泉女子大)     |
|                          | 多宗教社会ボスニア・ヘルツェゴビナからみる西欧の政教関係 | 立田由紀恵 (多摩大)       |
|                          |                              | コメンテータ：矢野 秀武 (駒大) |
|                          |                              | 司会：伊達 聖伸 (東大)     |

9月15日(日)

## 【午前】

- |                |                                |              |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20   | マスネのオペラ《タイス》におけるヒロインの回心の演出     | 笠原真理子 (東大)   |
| 2. 9:25-9:45   | 音楽と礼拝-F. X. ヴィットの教会音楽論-        | 清水 康宏 (東大)   |
| 3. 9:50-10:10  | 迂回の宗教哲学-ブルーメンベルク隠喩学の宗教哲学的射程-   | 下田 和宣 (京大)   |
| 4. 10:15-10:35 | 象りと共鳴-チャールズ・テイラーの言語論-          | 坪光 生雄 (一橋大)  |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教への拒絶と宗教のミメシス-シュルレアリスムの場合-    | 深澤 英隆 (一橋大)  |
| 6. 11:05-11:25 | 今日における不動の動者としての「神」の存在論的可能性について | 十津 守宏 (成城学園) |
| 7. 11:30-11:50 | 他者論と死者論-死者倫理の宗教哲学的考察-          | 佐藤 啓介 (南山大)  |
| 8. 11:55-12:15 | エンゲルハートにおける「神なき時代」の生命倫理        | 藤枝 真 (大谷大)   |

## 【午後】パネル 開催校企画

|  |   |   |
|--|---|---|
| Lived Ancient Religion: Circum-Mediterranean World |   | Convener: MATSUMURA Kazuo                           |
| 13:15-15:15  | The Concept of "Lived Ancient Religion"                       | Jörg RÜPKE (Erfurt Univ.)                           |
|  | Making of the Concept of "Paganism" in the Later Roman Empire | NAKANISHI Kyōko (Univ. of Tokyo)                    |
|  | Difference in Way of Living in "History Religion"             | DOI Yumi (Univ. of Tokyo)                           |
|  | What is Lived "Halakhic Religion"?                            | ICHIKAWA Hiroshi (Univ. of Tokyo)                   |
|  |   | Commentator and Chair: MATSUMURA Kazuo (Wako Univ.) |



# 第2部会 (3階 1309 教室)

9月14日 (土)

## 【午前】

- |                |                                |                  |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 枢要徳の歴史におけるキケローストア、キケロ、アンブロシウスー | 山田庄太郎 (聖心女子大)    |
| 2. 9:25- 9:45  | カルキディウスのヘブライ思想への言及             | 土屋 睦廣 (日大)       |
| 3. 9:50-10:10  | 隣人におけるキリストとの出会いーアウグスティヌスの愛の思想ー | 須藤 英幸 (同志社大)     |
| 4. 10:15-10:35 | アンセルムスの直しさ (rectitudo) について    | 矢内 義顕 (早大)       |
| 5. 10:40-11:00 | 『二原理の書』における悪と意志の関係について         | 村上 寛 (日本学術振興会)   |
| 6. 11:05-11:25 | 『24人の哲学者の書』のエックハルト思想への影響関係について | 田島 照久 (早大)       |
| 7. 11:30-11:50 | ドゥンス・スコトゥスにおける自然神学と形而上学        | 辻内 宣博 (早大)       |
| 8. 11:55-12:15 | ピコ・デラ・ミランドラの知性論における数の概念        | 比留間亮平 (東洋英和女学院大) |
| 9. 12:20-12:40 | カルヴァン『共観・ヨハネ福音書註解』における「聖定の思想」  | 森川 甫 (京大)        |

## 【午後】パネル

|                      |                                |                   |
|----------------------|--------------------------------|-------------------|
| 人とモノの現代宗教ー意味づけから消費へー |                                | 代表者：岡本 亮輔         |
| 14:00-16:00          | なぜ神木に抱きつくのかー宗教的パフォーマンスを生み出す環境ー | 岡本 亮輔 (北大)        |
|                      | モノが立ち上げる宗教伝統ー現代の山伏を事例にー        | 天田 顕徳 (東京工芸大)     |
|                      | モノが生み出すつながりとその変容ー津軽地方を例としてー    | 村上 晶 (駒大)         |
|                      | 貨幣と礼拝ー鑑賞的聖地における入場料と賽銭の〈あいだ〉ー   | 門田 岳久 (立教大)       |
|                      |                                | コメンテータ：山中 弘 (筑波大) |
|                      |                                | 司会：岡本 亮輔 (北大)     |

9月15日 (日)

## 【午前】

- |                |                              |                 |
|----------------|------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | アンドレーエ『クリスティアノポリス』の理想と現実     | シュルーター智子 (北大)   |
| 2. 9:25- 9:45  | スピノザにおける神学と自然学               | 大野 岳史 (東洋大)     |
| 3. 9:50-10:10  | シュライアマハーの『キリスト教信仰』についての一考察   | 安酸 敏眞 (北海学園大)   |
| 4. 10:15-10:35 | ショーペンハウアーの倫理学と救済論            | 竹内 綱史 (龍大)      |
| 5. 10:40-11:00 | 『ツァラトゥストラ』の「わたしの最も孤独な放浪」について | 中路 正恒 (京都造形芸術大) |
| 6. 11:05-11:25 | シュヴァイツァーのカント論における自由と倫理の諸問題   | 岩井謙太郎 (中部学院大)   |
| 7. 11:30-11:50 | ヤスパースによる『死に至る病』における絶望の分析     | 中村 元紀 (東洋大)     |
| 8. 11:55-12:15 | ハイデッガーにおけるユダヤ教と形而上学の問題       | 田鍋 良臣 (大谷大)     |

## 【午後】パネル

|                            |                                |                   |
|----------------------------|--------------------------------|-------------------|
| 生命操作時代の宗教と宗教学ー宗教的生命観を鍛え直すー |                                | 代表者：安藤 泰至         |
| 13:15-15:15                | 人ー動物キメラ胚研究をめぐる生命倫理議論と宗教・宗教学の役割 | 澤井 努 (京大)         |
|                            | ゲノム編集した人の子を産むことを禁止する理由         | 島菌 進 (上智大)        |
|                            | 生命操作の是非を越えてー悲しみと共に生きる宗教者の役割ー   | 花岡 尚樹 (あそかビハーラ病院) |
|                            | 生命操作に抗して何が言えるかー「生の被贈与性」を手掛りにー  | 脇坂 真弥 (大谷大)       |
|                            | 科学的生命観 vs 宗教的生命観という対立図式を超えて    | 安藤 泰至 (鳥取大)       |
|                            |                                | 司会：安藤 泰至 (鳥取大)    |

# 第3部会 (3階 1308教室)

9月14日(土)

## 【午前】

- |                |                                    |               |
|----------------|------------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | 21世紀は宗教間対話の時代ーカール・ラーナーの神学からー       | 高橋 勝幸         |
| 2. 9:25-9:45   | バルト『ローマ書』に見る「人間の義」ー初版と二版を比較してー     | 水口 隆司 (同志社大)  |
| 3. 9:50-10:10  | 宗教的言説における恐怖と不安に関する神学的ー考察           | 上原 潔 (大阪産業大)  |
| 4. 10:15-10:35 | 経験の質 (quality) ーデューイ経験論の構図ー        | 長谷 瑞光         |
| 5. 10:40-11:00 | 19世紀アメリカの有神論的進化論ー宗教と科学の接点としてー      | 林 研 (大阪経済法科大) |
| 6. 11:05-11:25 | 20世紀前半米国の『クリスチャン・センチュリー』の他宗教観      | 木村 智 (東大)     |
| 7. 11:30-11:50 | 「不安の時代」の人間性思想ーロジャーズとティリッヒを中心にー     | 今野 啓介 (東大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 『ニューヨークタイムズ』にみるニューバーとグラハムの位置       | 澤井 治郎 (天理大)   |
| 9. 12:20-12:40 | S. ハワーワスの教会論ーW. H. ウィリモンとの相違を踏まえてー | 徳田 信 (同志社大)   |

## 【午後】パネル

|                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| <b>近代における暦・国家・宗教</b>       | 代表者：岡田 正彦              |
| 14:00-16:00 近代における皇紀の成立    | 林 淳 (愛知学院大)            |
| 明治改暦再考                     | 下村 育世 (東洋大)            |
| 国民の祝祭日と仏教の忌日ー『仏暦一斑』と『神宮暦』ー | 岡田 正彦 (天理大)            |
| 近代中国における暦政策と旧暦             | 謝 荔 (法大)               |
|                            | コメンテータ：中牧 弘允 (吹田市立博物館) |
|                            | 司会：岡田 正彦 (天理大)         |

9月15日(日)

## 【午前】

- |                |                               |                |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 地球外の物質をめぐるグルジェフの祈祷論           | 宇野 功一          |
| 2. 9:25-9:45   | ヴィリバルト・ヘンチェルに見る世紀転換期ドイツの人種と宗教 | 齋藤 正樹 (早大)     |
| 3. 9:50-10:10  | ロバート・オーウェン『自伝』の未邦訳部分をめぐって     | 津城 寛文 (筑波大)    |
| 4. 10:15-10:35 | 宗教的ユートピアの構想ー近代ドイツの政治的文脈においてー  | 久保田 浩 (明治学院大)  |
| 5. 10:40-11:00 | V. E. フランクルの心理療法にみられる「神」認識の考察 | 妹尾 美加 (神戸女学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | V. E. フランクルの宗教観ー「意味」の根源としての神ー | 釘宮 明美 (白百合女子大) |
| 7. 11:30-11:50 | ギュイヨン夫人と信仰の闇                  | 渡辺 優 (東大)      |
| 8. 11:55-12:15 | マザーテレサの神秘主義ー暗闇の体験と苦悩ー         | 中里 巧 (東洋大)     |

## 【午後】パネル

|  |                      |
|--|----------------------|
| <b>親鸞と日本主義の間</b>                       | 代表者：近藤俊太郎            |
| 13:15-15:15 真宗大谷派の教学と日本主義ー真宗教学懇談会を通してー | 名和 達宣 (真宗大谷派教学研究所)   |
| 聖徳太子と日本主義ー金子大榮を中心にー                    | 東 真行 (親鸞仏教センター)      |
| 戦時下仏教教団と日本主義ー真宗本願寺派を中心にー               | 近藤俊太郎 (龍大)           |
| 真宗本願寺派の教学と日本主義ー梅原真隆を通してー               | 内手 弘太 (龍大)           |
|  | コメンテータ：中島 岳志 (東京工業大) |
|  | 司会：近藤俊太郎 (龍大)        |

# 第4部会 (3階 1307教室)

9月14日(土)

【午前】

- 9:00-9:20 (発表なし)
- 9:25-9:45 旧約聖書におけるメシアニズム思想 塩野谷恭輔 (東大)
- 9:50-10:10 人身供犠とヤハウェーヘブライ語聖書における二面性ー 岩崎 大悟 (関西学院大)
- 10:15-10:35 ヨブが認識したこと 宮下 聡子 (お茶の水女子大)
- 10:40-11:00 なぜ Ibn Tibbon は属性論における ḥāl を 'inyan と訳したのか 法貴 遊 (日本学術振興会)
- 11:05-11:25 ヘブライ語年代記における十字軍の迫害とユダヤ人の殉教 志田 雅宏 (早大)
- 11:30-11:50 ゲニザ文書に見る「破門 (Niddui)」の機能について 嶋田 英晴 (國學院大)
- 11:55-12:15 不寛容を生き抜く技法ーメンデルスゾーンとラーヴァター事件ー 後藤 正英 (佐賀大)
- 12:20-12:40 米国改革派ユダヤ教の両極性ー1940年代のシオニズム解釈ー 石黒 安里 (同志社大)

【午後】 パネル 国際委員会企画・日本宗教研究諸学会連合後援

|   |   |   |
|---|---|---|
| <b>Reconsidering the Role of Biography in the Study of Modern Japanese Buddhism</b> |   | Convener : Orion KLAUTAU                  |
| 14:00-16:00   | Nakanishi Ushirō: His Biography and the History of Religions          | HOSHINO Seiji (Kokugakuin Univ.)          |
|   | D. T. Suzuki in Context: Overcoming the "Great Man"                   | Stefan GRACE (Waseda Univ.)               |
|   | Toward a History of Modern Buddhist Art: The Life of Sugimoto Tetsurō | Micah AUERBACK (Univ. of Michigan)        |
|   |   | Commentator : MORIYA Tomoe (Hannan Univ.) |
|   |   | Commentator : John BREEN (Nichibunken)    |
|   |   | Chair : Orion KLAUTAU (Tohoku Univ.)      |

9月15日(日)

【午前】

- 9:00-9:20 (発表なし)
- 9:25-9:45 宮沢賢治童話の宗教世界 大澤千恵子 (東京学芸大)
- 9:50-10:10 近代の居士禅における『臨濟録』受容と反響ー前田利謙の場合ー 飯島 孝良 (親鸞仏教センター)
- 10:15-10:35 橋田邦彦における道元 浅野 章
- 10:40-11:00 和辻哲郎の仏教哲学における「空」の構造 山本栄美子 (東大)
- 11:05-11:25 西谷啓治『宗教とは何か』における虚無 酒井 梨帆 (明大)
- 11:30-11:50 宗教学者・岸本英夫の死の受容過程について 長崎 誠人 (姫路大)
- 11:55-12:15 霜山徳爾の宗教観 寺尾 寿芳 (上智大)

【午後】 パネル

|                              |                              |                          |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------|
| <b>近代仏教と遠忌ーインフラ・国家・メディアー</b> |                              | 代表者 : 武井 謙悟              |
| 13:15-15:15                  | 近代化する御遠忌ー東西両本願寺の大規模事業と親鸞像ー   | 大澤 絢子 (大谷大)              |
|                              | 高野山の御遠忌と近代化ー大師信仰と伝統の再編成ー     | 井川 裕覚 (上智大)              |
|                              | 近代曹洞宗の遠忌ー鉄道開通後の永平寺と移転後の總持寺ー  | 武井 謙悟 (駒大)               |
|                              | 日蓮門下と記念事業ー降誕七〇〇年から六五〇遠忌への道程ー | ユリア・ブレニナ (阪大)            |
|                              |                              | コメンテータ・司会 : 碧海 寿広 (武蔵野大) |

# 第5部会 (2階 1201教室)

9月14日(土)

## 【午前】

- |                |                              |                   |
|----------------|------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                       |                   |
| 2. 9:25-9:45   | 16世紀のイエズス会による東洋宣教と音楽         | 深堀 彩香 (南山宗教文化研究所) |
| 3. 9:50-10:10  | 近代移行期における潜伏キリシタン信仰組織の転換      | 内藤 幹生 (千葉県文書館)    |
| 4. 10:15-10:35 | 明治初期の新聞における「宗教」をめぐる言説分析      | 高橋 直子 (明治学院大)     |
| 5. 10:40-11:00 | 明治憲法第28条の成立過程および公布当初の解釈について  | 高瀬 航平 (東大)        |
| 6. 11:05-11:25 | 明治期社会事業とキリスト教—遠友夜学校をてがかりとして— | 森上 優子 (文部科学省)     |
| 7. 11:30-11:50 | 柏木義円の「神の肖像」論                 | 杉田 俊介 (神戸女学院大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 日本正教会の儀礼実践—神による「記憶」と死者への祈り—  | 佐崎 愛 (東北大)        |
| 9. 12:20-12:40 | 文部省に勤務した日本聖公会の広安孝夫           | 大澤 広嗣 (文化庁)       |

## 【午後】

- |                |                               |                  |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 紀元前3世紀中国の喪葬改革—北京大学蔵秦簡『泰原有死者』— | 池澤 優 (東大)        |
| 2. 14:25-14:45 | 古代エジプト人の二元論的思考—真実の女神の例を中心に—   | 肥後 時尚 (関西大)      |
| 3. 14:50-15:10 | メソポタミアのアーシブによる儀礼の特徴           | 細田あや子 (新潟大)      |
| 4. 15:15-15:35 | 誓約文書を礼拝するアッシリア宗教の発展形態とその後     | 渡辺 和子 (東洋英和女学院大) |
| 5. 15:40-16:00 | (発表なし)                        |                  |

9月15日(日)

## 【午前】

- |                |                                 |                    |
|----------------|---------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 回儒思想の研究—王岱輿を例にして—               | 丁 小麗 (東大)          |
| 2. 9:25-9:45   | イスラーム地域研究史資料の収集・利用の促進と資料学の開拓    | 阿里木托和提 (東北大)       |
| 3. 9:50-10:10  | イラン知識人の言説にみる神秘主義と文化的固有性         | 村山木乃実 (東京外国語大)     |
| 4. 10:15-10:35 | イスラーム教におけるタクフィールのファトワーへの歴史的俯瞰   | ハルドゥーン・フセイン (同志社大) |
| 5. 10:40-11:00 | ムスリム知識人による反テロリズム言説と「現実理解の法学」    | 黒田 彩加 (日本学術振興会)    |
| 6. 11:05-11:25 | トルコ共和国におけるアレヴィー集落における諸儀礼の変化     | 佐島 隆 (大阪国際大)       |
| 7. 11:30-11:50 | イスラーム法理学におけるハラール概念              | 四戸 潤弥 (同志社大)       |
| 8. 11:55-12:15 | 家族法のイスラーム性と社会の世俗性—エジプト身分法をめぐって— | 八木久美子 (東京外国語大)     |

## 【午後】パネル

- |                       |                             |                  |
|-----------------------|-----------------------------|------------------|
| <b>イスラーム中世における神認識</b> |                             | 代表者：澤井 真         |
| 13:15-15:15           | スフラワルディーにおける照応—天使論にむけて—     | 小野 純一 (自治医科大)    |
|                       | イブン・アラビー思想における神の顕現と人間の心     | 相楽 悠太 (東大)       |
|                       | ジューリーの存在の自己顕現論におけるムハンマドとアダム | 澤井 真 (天理大)       |
|                       | イーギーにおける神認識と世界              | 中西 悠喜 (日本学術振興会)  |
|                       |                             | コメンテータ：野元 晋 (慶大) |
|                       |                             | 司会：澤井 真 (天理大)    |

# 第6部会 (2階 1202教室)

9月14日(土)

## 【午前】

- |                |                                |              |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20   | 古事記における「悪神」と禍津日神               | 稲田 智宏        |
| 2. 9:25-9:45   | 白山-中宮試考-                       | 小林 一葵        |
| 3. 9:50-10:10  | 中江藤樹の谷川寅への教え                   | 鈴木 保實        |
| 4. 10:15-10:35 | 山崎闇斎の神学思想とその基盤としての「山王」信仰について   | 久保 隆司 (國學院大) |
| 5. 10:40-11:00 | 神社祭式の理論と実践-関係法令の変遷に着目して-       | 竹内 雅之 (國學院大) |
| 6. 11:05-11:25 | 国学者における礼楽論                     | 井関 大介 (東洋大)  |
| 7. 11:30-11:50 | 近世中期復古神道の形成と国学                 | 松本 久史 (國學院大) |
| 8. 11:55-12:15 | 「神祇史」と表象-宮地直一の神道美術観-           | 石倉 孝祐 (神奈川大) |
| 9. 12:20-12:40 | 台湾宗教研究と神道概念の関連-増田福太郎による研究を事例に- | 原田 雄斗 (一橋大)  |

## 【午後】

- |                |   |  |
|----------------|---|--|
| 1. 14:00-14:20 | 金子白夢牧師の女性観  | 菅原 研州 (愛知学院大)                              |
| 2. 14:25-14:45 | Nitobe Inazō's Religious Views and Involvement in Women's Education | Stephanie Midori KOMASHIN (Hokkaido Univ.) |
| 3. 14:50-15:10 | 19世紀末アメリカのニューソートにおける女性  | 飯田 陽子 (東大)                                 |
| 4. 15:15-15:35 | 米国におけるプロライフ派の動向-「心音法案」に関する新展開-                                      | 佐藤 清子 (成城大)                                |
| 5. 15:40-16:00 | クイア研究と仏教思想の関連性について  | 宇治 和貴 (筑紫女学園大)                             |

9月15日(日)

## 【午前】

- |                |                                |              |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20   | 富士信仰としての丸山教会                   | 大谷 正幸        |
| 2. 9:25-9:45   | 明治20年代の宗教保守運動-井上哲次郎・鳥尾得庵・内藤耻叟- | 栗田 英彦 (南山大)  |
| 3. 9:50-10:10  | 影山庄平における箕克彦の影響                 | 島岡 昇平 (國學院大) |
| 4. 10:15-10:35 | 石原莞爾関係者の石原莞爾論                  | 内村 琢也        |
| 5. 10:40-11:00 | 財界人の宗教性-中島久万吉は仏教徒かクリスチャンか-     | 村山 元理 (常磐大)  |
| 6. 11:05-11:25 | 近代日本における「国式」の葬儀-「喪主」を軸として-     | 大番 彩香 (國學院大) |
| 7. 11:30-11:50 | 宮地常磐の葬儀について                    | 黒田 宗篤 (皇學館大) |
| 8. 11:55-12:15 | 近代日本における黙禱儀礼の定着と解釈をめぐる論争       | 粟津 賢太 (上智大)  |

## 【午後】パネル

|                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| 近代宗教政策下における「教団」未満の宗教者たち    | 代表者：石原 和         |
| 13:15-14:55 「本所」としての大成教    | 井上 智勝 (埼玉大)      |
| 稻荷講社と出口王仁三郎-講社所管教会という視点から- | 石原 和 (国立民博)      |
| 神道御徳教会と宮城島金作               | 並木 英子 (国際基督教大)   |
|                            | コメンテータ：永岡 崇 (駒大) |
|                            | 司会：石原 和 (国立民博)   |

# 第7部会（2階セミナー室1）

9月14日（土）

【午前】

- |                |                                |                      |
|----------------|--------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 親鸞における回心の意義ー「化身土文類」観経隠顕引文を通してー | 蟹谷 誓（龍大）             |
| 2. 9:25- 9:45  | 『歎異抄』第2条の背景をめぐって               | 木村元太郎（九大）            |
| 3. 9:50-10:10  | 親鸞浄土教における凡夫観の倫理的意義             | 釋 大智（相愛大）            |
| 4. 10:15-10:35 | 存覚の唱導僧的性格について                  | 田中 了輔（龍大）            |
| 5. 10:40-11:00 | 存覚上人における「二河譬」の理解               | 隅倉 浩信（浄土真宗本願寺派総合研究所） |
| 6. 11:05-11:25 | 『教行信証』における他者としての「道俗」           | 鶴留 正智（大谷大）           |
| 7. 11:30-11:50 | 末法の教主ー親鸞の太子信仰と末法史観の関わりー        | 廣田 至（大谷大）            |
| 8. 11:55-12:15 | 親鸞における「説人差別」の一考察               | 逸見世自在（龍大）            |
| 9. 12:20-12:40 | 親鸞の神祇観                         | 水岡 知典（龍大）            |

【午後】 発表なし

9月15日（日）

【午前】

- |                |                                |                     |
|----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | （発表なし）                         |                     |
| 2. 9:25- 9:45  | 虎関師錬による禅宗伝来の見直しー東福寺を中心にー       | 鄭 美景（花園大）           |
| 3. 9:50-10:10  | 夢窓疎石における方便の思想                  | 余 新星（東大）            |
| 4. 10:15-10:35 | 尼門跡寺院と白隠禅師の関係について              | 竹下ルッジェリ・アンナ（京都外国語大） |
| 5. 10:40-11:00 | 源信の念仏思想の変化についてー特に『阿弥陀経略記』を中心にー | 廣澤彌々子（龍大）           |
| 6. 11:05-11:25 | 双盤念仏の成立と変遷ー芸能化された声明ー           | 坂本 要（筑波学院大）         |
| 7. 11:30-11:50 | 仏教カウンセリング構造からの進展に向けて           | 太田 俊明               |
| 8. 11:55-12:15 | 止観における負の側面への対処法について            | 蓑輪 顕量（東大）           |

【午後】 パネル

|                                       |                 |
|---------------------------------------|-----------------|
| 越境する教派神道ー組織化における交渉・葛藤・分裂ー             | 代表者：弓山 達也       |
| 13:15-14:55 越境する教派神道ー組織化における交渉・葛藤・分裂ー | 弓山 達也（東京工業大）    |
| 金光教と黒住教にみる組織形成の葛藤                     | 藤井 麻央           |
| 実行教の組織化における非富士信仰的要因                   | 今井 功一（戸田市役所）    |
| 大成教に包括された近世教化活動                       | 荻原 稔（国際日文研）     |
|                                       | 司会：弓山 達也（東京工業大） |

# 第8部会 (2階 1203 教室)

9月14日 (土)

## 【午前】

- |                |                               |                    |
|----------------|-------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 黒田眞洞『大乘仏教大意』のマックス・ミュラーへの影響    | 鷹司 誓榮 (佛教大)        |
| 2. 9:25- 9:45  | 誰がための持戒か—明治後期における戒律論争の検討—     | 亀山 光明 (東北大)        |
| 3. 9:50-10:10  | 河口慧海の經典観                      | 庄司 史生 (立正大)        |
| 4. 10:15-10:35 | 網島梁川の念仏                       | 古荘 匡義 (龍大)         |
| 5. 10:40-11:00 | 加藤咄堂と「倫理宗教」の問題—1900年前後を中心として— | 山口 陽子 (東北大)        |
| 6. 11:05-11:25 | 明治後期・大正期における人格と仏教—境野黄洋を中心として— | 呉 佩遥 (東北大)         |
| 7. 11:30-11:50 | 大正期における大谷光瑞像の形成と展開            | 楽 星 (東北大)          |
| 8. 11:55-12:15 | 東本願寺伝道講究院にみる布教理念              | 春近 敬 (大正大)         |
| 9. 12:20-12:40 | メモリアルとしての浄土真宗「立教開宗」           | 御手洗隆明 (真宗大谷派教学研究所) |

## 【午後】

- |                |                               |                  |
|----------------|-------------------------------|------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 宗教教団の「近代化」と法—真宗大谷派の『宗憲』に着目して— | 宮部 峻 (東大)        |
| 2. 14:25-14:45 | 現代寺院における経済的側面の研究にむけて          | 梶 龍輔 (駒大)        |
| 3. 14:50-15:10 | 住持の交代をめぐる表象について—禅宗清規の記述から—    | 金子 奈央 (中村元東方研究所) |
| 4. 15:15-15:35 | 行者仏教寺院の「継承」について               | 加藤 之晴 (駒大)       |
| 5. 15:40-16:00 | 月参りにみる地域特性—超高齢社会における寺院の役割—    | 小川 有閑 (大正大)      |

9月15日 (日)

## 【午前】

- |                |                               |                      |
|----------------|-------------------------------|----------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | (発表なし)                        |                      |
| 2. 9:25- 9:45  | 聞名思の起源と発展                     | 山崎 隆弘 (本願寺派宗学院)      |
| 3. 9:50-10:10  | 三階教における『涅槃経』の引用—南本・北本の問題に関して— | 青木 佳伶 (武蔵野大)         |
| 4. 10:15-10:35 | 道綽浄土教における十念について               | 福井 順忍 (龍大)           |
| 5. 10:40-11:00 | 中国浄土教における臨終行儀に関する一考察          | 溪 英俊 (浄土真宗本願寺派総合研究所) |
| 6. 11:05-11:25 | 『観念法門』所説の懺悔についての一考察           | 眞田 慶慧 (龍大)           |
| 7. 11:30-11:50 | 文超についての検討                     | 平 燕紅 (国際仏教学大学院大)     |
| 8. 11:55-12:15 | チベットにおける観音信仰—『摩尼十万語』を中心に—     | 佐久間留理子 (大阪観光大)       |

## 【午後】 パネル

|   |                      |
|---|----------------------|
| 宗教研究における井筒「東洋哲学」とその展開                     | 代表者：澤井 義次            |
| 13:15-15:15 井筒「東洋哲学」におけるモッラー・サドラー存在論の位置づけ | 鎌田 繁 (東大)            |
| 井筒「東洋哲学」とハイデガーの言語哲学                       | フアン・ホセ・ロペス・パソス (天理大) |
| 井筒俊彦の言語アラヤ識と上田閑照の根源語                      | 氣多 雅子 (京大)           |
| 井筒「東洋哲学」構想とイブン・アラビー解釈に潜む問題点               | 仁子 寿晴 (同志社大)         |
| 井筒俊彦の哲学的意味論とシャンカラの哲学                      | 澤井 義次 (天理大)          |
|   | 司会：澤井 義次 (天理大)       |

# 第9部会 (2階 1204教室)

9月14日(土)

【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 『順正理論』の認識論—到達認識説・非到達認識説論争—     | 那須 円照 (龍大)      |
| 2. 9:25- 9:45  | 古代インドの宗教者「マガ」のイラン的特徴           | 永井 悠斗 (筑波大)     |
| 3. 9:50-10:10  | 近代アドヴァイタ哲学再考—ドヴィヴェーディーとガーンディー— | 間 永次郎 (日本学術振興会) |
| 4. 10:15-10:35 | インドにおける輪廻思想と出家について             | 富田 信隆 (駒大)      |
| 5. 10:40-11:00 | インドにおける因果の思想を考える—物理的因果と因果応報—   | 丸井 浩 (武蔵野大)     |
| 6. 11:05-11:25 | チベットの建国神話伝説に観られるインド仏教の継承       | 槇殿 伴子 (身延山大)    |
| 7. 11:30-11:50 | ティラウラコット遺跡発掘の現状と課題             | 則武 海源 (立正大)     |
| 8. 11:55-12:15 | インドにおける終焉期の仏教をめぐって             | 高島 淳 (東京外国語大)   |
| 9. 12:20-12:40 | 宗教が国家を作る時—シク教を事例として—           | 保坂 俊司 (中央大)     |

【午後】

- |                |                              |                |
|----------------|------------------------------|----------------|
| 1. 14:00-14:20 | 幕末の災害と「災害錦絵」の登場              | 朴 炳道 (東大)      |
| 2. 14:25-14:45 | 暴力行為の罪と罰—律蔵と人権思想から—          | 工藤 英勝 (曹洞宗宗務庁) |
| 3. 14:50-15:10 | 戦争や宗教悪用における協力聖職者問題           | 別府 良孝          |
| 4. 15:15-15:35 | 近年中国における仏教研究—北京大学『北大仏学』を事例に— | 何 燕生 (郡山女子大)   |
| 5. 15:40-16:00 | (発表なし)                       |                |

9月15日(日)

【午前】

- |                |                                |                  |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | (発表なし)                         |                  |
| 2. 9:25- 9:45  | 日蓮聖人教学における『摩訶止観』受容の一側面         | 堀内 紳行 (立正大)      |
| 3. 9:50-10:10  | 日蓮著『立正安国論』における問答形式をめぐって        | 矢吹 康英 (興隆学林専門学校) |
| 4. 10:15-10:35 | 浅草寺寂海(日寂)をめぐる諸問題               | 長倉 信祐 (富士学林)     |
| 5. 10:40-11:00 | 「四十五字法体段」における「己心」の二重性—日蓮の一念三千— | 間宮 啓壬 (身延山大)     |
| 6. 11:05-11:25 | 近世加賀藩における大石寺信仰の展開—明和七年法令の周辺—   | 横山 雄玉 (佛教大)      |
| 7. 11:30-11:50 | 近世日蓮宗寺院における伽藍配置の特徴             | 望月 真澄 (身延山大)     |
| 8. 11:55-12:15 | 日蓮の大曼荼羅図願の背景                   | 渡邊 寶陽 (立正大)      |

【午後】パネル

|                      |                            |                     |
|----------------------|----------------------------|---------------------|
| 宗勢調査の可能性と個別課題へのアプローチ |                            | 代表者：川又 俊則           |
| 13:15-15:15          | 質問紙調査による実態把握や将来予測としての宗勢調査  | 相澤 秀生 (跡見学園女子大)     |
|                      | 調査を通して見えてくる過疎地寺院の課題        | 平子 泰弘 (曹洞宗総合研究センター) |
|                      | 調査を通して見えてくる寺院と葬祭・墓地問題のこれから | 問芝 志保 (国際宗教研究所)     |
|                      |                            | コメンテータ：村上 興匡 (大正大)  |
|                      |                            | 司会：川又 俊則 (鈴鹿大)      |



# 第10部会（4階1404教室）

9月14日（土）

【午前】

- |                |   |                |
|----------------|---|----------------|
| 1. 9:00- 9:20  | （発表なし）  |                |
| 2. 9:25- 9:45  | 死とは何か   | 日高 悠登（龍大）      |
| 3. 9:50-10:10  | なぜ神道はターミナルケアに携わってこなかったのか                        | 金田 伊代（京大）      |
| 4. 10:15-10:35 | 公立福生病院の透析中止問題から考える「生と死」                         | 沖永 隆子（帝京大）     |
| 5. 10:40-11:00 | ハンセン病とキリスト教—コンタクトゾーンとしての日本 MTL—                 | 松岡 秀明（東京医科歯科大） |
| 6. 11:05-11:25 | 宗教と認知行動的セルフモニタリングに関する研究                         | 山崎 洋史（國學院大）    |
| 7. 11:30-11:50 | 医療と宗教のつながり                                      | 坂本 進           |
| 8. 11:55-12:15 | 北米のキリスト教的ケアの歴史におけるヘンリ・ナウエンの意義                   | 武田 厚子（立教大）     |
| 9. 12:20-12:40 | 依存症の神学—Ernest Kurtz による Alcoholics Anonymous 史— | 葛西 賢太（上智大）     |

【午後】

- |                |                                |                     |
|----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 精神医学と狸憑き—『実説古狸合戦』をめぐる—         | 斎藤 喬（南山宗教文化研究所）     |
| 2. 14:25-14:45 | メラニー・クラインの抑うつポジションにおける喪の作業と創造性 | 田口 博子（白百合女子大）       |
| 3. 14:50-15:10 | リヨンの病院のライシテ化—病院修道女の地域的特殊性を中心に— | 田中 浩喜（東大）           |
| 4. 15:15-15:35 | 居場所とは何か—自立準備ホーム「オリーブの家」の事例—    | 萩原 修子（熊本学園大）        |
| 5. 15:40-16:00 | ジャン・ヴァニエの実践—「自律／他律」を問い直す—      | 寺戸 淳子（国際ファッション専門職大） |

9月15日（日）

【午前】

- |                |                                |              |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20  | （発表なし）                         |              |
| 2. 9:25- 9:45  | 沖縄の新宗教における霊能の継承—龍泉を事例に—        | 長島三四郎（大正大）   |
| 3. 9:50-10:10  | 外来の新宗教における日本人指導者の役割—エホバの証人の事例— | 山口 瑞穂（佛教大）   |
| 4. 10:15-10:35 | 統一教会を脱会した在韓日本人女性元信者たちのレジリアンス   | 中西 尋子（関西大）   |
| 5. 10:40-11:00 | 夫婦再考—天理教の教えと「性」の多様性—           | 堀内みどり（天理大）   |
| 6. 11:05-11:25 | 進化する神—対話の哲学と金光教—               | 山崎 好裕（福岡大）   |
| 7. 11:30-11:50 | 戦後日本における「宗教右派」「宗教右翼」概念の形成過程    | 塚田 穂高（上越教育大） |
| 8. 11:55-12:15 | 谷口正治と皇道霊学                      | 寺田 喜朗（大正大）   |

【午後】パネル

- |                            |                            |                             |
|----------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 陰陽道祭祀の形成と展開—奈良暦師吉川家文書を中心に— |                            | 代表者：梅田 千尋                   |
| 13:15-15:15                | 古代陰陽道の展開                   | 細井 浩志（活水女子大）                |
|                            | 中世陰陽道と占い                   | 赤澤 春彦（摂南大）                  |
|                            | 近世陰陽道祭祀の伝播                 | 梅田 千尋（京都女子大）                |
|                            | 吉川家伝来「土公神祭文」—その信仰および文芸的特徴— | 松山由布子（国立歴史民俗博物館）            |
|                            |                            | コメンテーター・司会：小池 淳一（国立歴史民俗博物館） |

# 第11部会 (4階 1402教室)

9月14日(土)

## 【午前】

- |                |                                |                   |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 西条祭りにおける慣習の明文化と祭礼組織の復権         | 倉田 健太 (総合研究大学院大)  |
| 2. 9:25-9:45   | トシヨリと子どもの祭                     | 後藤 晴子 (南山宗教文化研究所) |
| 3. 9:50-10:10  | いわゆる「コミュニティどんと祭」における謝礼の機能      | 高橋 嘉代 (奥羽大)       |
| 4. 10:15-10:35 | 好かれる妖怪と嫌われる妖怪—妖怪博物館という試み—      | 深水 顕真 (広島文教大)     |
| 5. 10:40-11:00 | 日本の社会と怪異について                   | 古山 美佳 (文化庁)       |
| 6. 11:05-11:25 | 修行大師像の創出—四国霊場の現地調査から—          | 浅川 泰宏 (埼玉県立大)     |
| 7. 11:30-11:50 | 武州御嶽山と山麓住民—宿坊運営における女性従業員に注目して— | 高田 彩 (國學院大)       |
| 8. 11:55-12:15 | タカラガイの価値と流通—『海上の道』を手がかりに—      | 佐藤 亜美 (東北大)       |
| 9. 12:20-12:40 | 柳田國男の戦時下における祭祀論と戦争協力           | 由谷 裕哉 (小松短大)      |

## 【午後】パネル

|                              |                             |                   |
|------------------------------|-----------------------------|-------------------|
| <b>宗教現象学の歴史的展開に関する批判的再検討</b> |                             | 代表者：奥山 史亮         |
| 14:00-15:40                  | ファン・デル・レーウにおける宗教現象学方法論の形成過程 | 木村 敏明 (東北大)       |
|                              | エリアードとエラノスにおける宗教現象学の学的連関    | 奥山 史亮 (北海道科学大)    |
|                              | ルドルフ・オットーと「宗教現象学」           | 藁科 智恵 (日本学術振興会)   |
|                              | ハイラーにおける宗教現象学の受容と展開         | 宮嶋 俊一 (北大)        |
|                              |                             | 司会：奥山 史亮 (北海道科学大) |

9月15日(日)

## 【午前】

- |                |                                   |                |
|----------------|-----------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 陸前高田市における震災遺構の意義—仏教者の観点を手掛かりに—    | 金沢 豊 (龍大)      |
| 2. 9:25-9:45   | 災害後の集落の変化と祭礼文化の包摂性                | 黒崎 浩行 (國學院大)   |
| 3. 9:50-10:10  | 災害に備える行政と宗教施設の連携—東京都の事例—          | 稲場 圭信 (阪大)     |
| 4. 10:15-10:35 | 葬儀の簡素化と香典—群馬県・栃木県における「新生活」の定着—    | 大場 あや (大正大)    |
| 5. 10:40-11:00 | 現代日本における脱／再「遺骨」化をめぐる動向の検討         | 土居 浩 (ものづくり大)  |
| 6. 11:05-11:25 | 個人化する葬送と地方自治体の対応                  | 山田 慎也 (国立歴史民俗) |
| 7. 11:30-11:50 | 臨終における身体接触性—iot、Androidは善知識になれるか— | 神居 文彰 (佛教大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 現代における葬儀の変容に関する認知宗教学的な分析の試み       | 井上 順孝 (國學院大)   |

## 【午後】パネル

|                                       |                                |                     |
|---------------------------------------|--------------------------------|---------------------|
| <b>娯楽メディアと宗教表象—インド映画に現れた宗教世界を中心に—</b> |                                | 代表者：山下 博司           |
| 13:15-14:55                           | 映画『ボンベイ』における宗教的対立の分析           | アントニー・スサイラジ (南山大)   |
|                                       | 宗教批判と作品批判—映画『PK』受容の二極分化と価値の相克— | 山下 博司 (東北大)         |
|                                       | 日常のなかの宗教—新中間層映画『ランチボックス』の事例から— | 岡光 信子 (中央大)         |
|                                       |                                | コメンテータ：田中 鉄也 (国立民俗) |
|                                       |                                | 司会：山下 博司 (東北大)      |

# 第12部会（4階1401教室）

9月14日（土）

【午前】

1. 9:00- 9:20 (発表なし)
2. 9:25- 9:45 (発表なし)
3. 9:50-10:10 ペンテコスタリズムと伝統宗教 野口 生也 (東京福祉大)
4. 10:15-10:35 都市の異人像ーケニア、リコーニの悪魔崇拝言説の検討に向けてー 岡本 圭史 (中京大)
5. 10:40-11:00 精霊と共に住まうーラオス少数民族カタンの人びとの精霊信仰ー 徳安 祐子 (東京福祉大)
6. 11:05-11:25 アメリカにおけるスーフィー系コミュニティ運動の展開 高橋 圭 (東洋大)
7. 11:30-11:50 災害を生きるーグアテマラにおける宗教と文化ー 大村 哲夫 (東北大)
8. 11:55-12:15 インドにおける少子高齢社会パールシー・コミュニティの現状 香月 法子 (中央大)
9. 12:20-12:40 ヴィヴェーカーナダにおけるインドの国民統合と宗教 外川 昌彦 (東京外国語大)

【午後】

1. 14:00-14:20 日本人は宗教情報とどの様につきあっているのか 青木 繁 (東京工業大)
2. 14:25-14:45 現代日本人の宗教意識調査から読み取られるもの 海山 宏之 (茨城県立医療大)
3. 14:50-15:10 宗教文化と伴侶動物の病理解剖数の関係ー日本とアメリカの比較ー 高橋 優子 (酪農学園大)
4. 15:15-15:35 宗教を信じることは幸福か？ーオランダの例 NRBS との比較ー 湯川 洋久 (西南学院大)
5. 15:40-16:00 世論調査による日本人の宗教団体に対する関与・評価の20年 石井 研士 (國學院大)

9月15日（日）

【午前】

1. 9:00- 9:20 現代日本におけるキリスト教用品のマテリアルカルチャー研究 中村 祐希 (清泉女子大)
2. 9:25- 9:45 現代における「プチ修行体験」の流行ーその展開の理解へ向けてー 小高 絢子 (東京工業大)
3. 9:50-10:10 宗教観光と真正性ー物質的宗教論の観点からー ミア・ティッロネン (北大)
4. 10:15-10:35 参拝者によるツイートの空間的分析ー伊勢神宮と出雲大社の事例ー 板井 正斉 (皇學館大)
5. 10:40-11:00 群馬県の地方共同体の再生を考察するー祭り・温泉・観光ー 野村 誠 (共愛学園前橋国際大)
6. 11:05-11:25 再開発と都市祭りー日本橋地区の神田祭の事例からー 秋野 淳一 (國學院大)
7. 11:30-11:50 地域振興とハラル・ビジネス 小村 明子 (立教大)
8. 11:55-12:15 不活動神社に関する予備的調査ー高知県と新潟県を事例にー 冬月 律 (モラロジー研究所)

【午後】 発表なし

# 第13部会 (4階 1405 教室)

9月14日 (土)

【午前】

- |                |                                |                  |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 中国における媽祖信仰の実態—諸派の対立と媽祖廟—       | 張 凱 (龍大)         |
| 2. 9:25- 9:45  | 現代中国の「仏教外交」—開発対象地域とのすり合わせから—   | 別所 裕介 (駒大)       |
| 3. 9:50-10:10  | 韓国キリスト教会のプロライフ運動—「ベビーボックス」の挑戦— | 淵上 恭子            |
| 4. 10:15-10:35 | 「崔順実ゲート」における巫俗批判の諸相            | 新里 喜宣 (日本学術振興会)  |
| 5. 10:40-11:00 | 憑霊をめぐる主導権から見た韓国巫俗              | 川上 新二 (岐阜市立女子短大) |
| 6. 11:05-11:25 | 現代韓国における火葬普及後の墓地形態の変化について      | 田中 悟 (摂南大)       |
| 7. 11:30-11:50 | シンガポール公営火葬場建設へのみちのり            | 高棹 健太 (東北大)      |
| 8. 11:55-12:15 | インドネシアのシーア派系団体—彼らの活動と思想的特徴の考察— | 平野 貴大 (東大)       |
| 9. 12:20-12:40 | 現代インドネシア仏教の20年                 | 木村 文輝 (愛知学院大)    |

【午後】

- |                |                                |                   |
|----------------|--------------------------------|-------------------|
| 1. 14:00-14:20 | 「自然なお産」のスピリチュアリティ              | 橋迫 瑞穂 (立教大)       |
| 2. 14:25-14:45 | 異端論としての脱スピ論—内からのスピリチュアル批判—     | ヤニス・ガイタニディス (千葉大) |
| 3. 14:50-15:10 | マインドフルネス最前線—宗教・医療・教育・司法における応用— | 谷口 智子 (愛知県立大)     |
| 4. 15:15-15:35 | ミャンマーのパオ仏教瞑想を実践する日本人の体験と宗教的效果  | 川本 佳苗 (京大)        |
| 5. 15:40-16:00 | 宗教的体験と癒し—瞑想、信仰に関して—            | 半田 栄一 (中央大)       |

9月15日 (日)

【午前】

- |                |                                |                       |
|----------------|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 9:00- 9:20  | 山田真山作《沖縄平和祈念像》と平和祈念公園の形成       | 君島 彩子 (駒大)            |
| 2. 9:25- 9:45  | 沖縄における戦没者慰霊—仏教・新宗教の動向を中心に—     | 川瀬 貴也 (京都府立大)         |
| 3. 9:50-10:10  | 仏教系大学における「僧侶」養成とその特徴           | 武井 順介 (立正大)           |
| 4. 10:15-10:35 | 大学における宗教関連学問の戦後史—学部・学科組織に着目して— | 江島 尚俊 (田園調布学園大)       |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教の社会科学教育—大学ガイドライン作成の経験から—     | 飯嶋 秀治 (九大)            |
| 6. 11:05-11:25 | 「宗教科」の学習支援の原理構築に向けた基礎的研究       | 桑原 昭信 (浄土真宗本願寺派宗学院)   |
| 7. 11:30-11:50 | 戦後日本のキリスト教と大学—大学キリスト者の会に着目して—  | 齋藤 崇徳 (大学改革支援・学位授与機構) |
| 8. 11:55-12:15 | 宗門系大学における臨床宗教師養成               | 高橋 原 (東北大)            |

【午後】 パネル

|                             |                                |                |
|-----------------------------|--------------------------------|----------------|
| <b>人工知能の社会実装化が提議する宗教的問題</b> |                                | 代表者：木村 武史      |
| 13:15-15:15                 | AI と人工的他者性                     | 木村 武史 (筑波大)    |
|                             | AI が描く異界観とは—伝統芸能の事例から—         | 永原 順子 (阪大)     |
|                             | 自然と人工物の境界に関する宗教倫理的考察—憑依する人工知能— | 小原 克博 (同志社大)   |
|                             | 宗教伝統、ヒューマニズム、AI における人間観の共存     | 濱田 陽 (帝京大)     |
|                             | 森政弘の仏教思想と AI ・ロボット開発           | 師 茂樹 (花園大)     |
|                             |                                | 司会：木村 武史 (筑波大) |

# 『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①②を満たした方に限ります。

- ① 大会HPからダウンロードした『宗教研究』93巻別冊要旨・入力ファイル（Word）に入力した要旨を、9月20日までに、メールの添付ファイルで送信し、
  - ② 提出原稿の書式が、規定にそっている方
- パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて送信してください。

- ① 作成と提出方法 締切日：9月20日（受付開始：8月20日）  
送信先：『宗教研究』編集委員会 ja-religion@mub.biglobe.ne.jp

大会HPの「別冊要旨・入力ファイル」のバーからダウンロードした『宗教研究』93巻別冊要旨・入力ファイル（Word）に入力し、添付ファイルで送信してください。

メールの件名と添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

メールを受信した時は、必ず返信を出します。

（受信した順に、添付ファイルを開き、作業を行うため、返信が翌日以降になることがあります）

## ② 提出原稿の書式

縦書き 40字×40行以内（総文字数ではありません） 用紙：A4横

文字サイズ：10.5ポイント 邦文のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

入力ファイルのページ設定の変更は不可

縦書きのため、邦文は原則、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

注記、参考文献一覧は認めない（要旨中に丸括弧で挿入する）。図表等の掲載は不可。

日本語が母語でない方は、必ず、日本語上の精査を受けてください。

英語で発表を行った場合も、要旨は日本語で提出する（タイトル・発表者名は英語）。

### ・パネル発表

「パネルの主旨とまとめ」「パネルの欧文タイトル」（代表者）、「発表要旨」（発表者）、「コメント」（コメンテータ）を提出することを原則とする。いずれも40字×40行以内。

代表者がとりまとめて、9月20日までに、編集委員会に送信してください。

日本語以外の発表があった場合は、代表者の責任で、日本語の要旨を提出してください。

「パネルの主旨とまとめ」「パネルの欧文タイトル」は、代表者が執筆する。

### ・欧文タイトル

英語の場合は、邦文題目に照らして、ネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

9月20日までに送信されなかった場合は、掲載不可となります。

いかなる事由であっても（自然災害を含む）、発表を行わなかった人の要旨は掲載できません。

『宗教研究』編集委員会

# 本館 案内図



受付 エントランスホール



第5部会 1201 教室

第6部会 1202 教室

第7部会 セミナー室1

第8部会 1203 教室

第9部会 1204 教室



|      |         |
|------|---------|
| 第1部会 | 1310 教室 |
| 第2部会 | 1309 教室 |
| 第3部会 | 1308 教室 |
| 第4部会 | 1307 教室 |

|                 |            |
|-----------------|------------|
| 開会式、公開シンポジウム    |            |
| 評議員会、会員総会       | 1311 教室    |
| 国際委員会 IAHR 説明会  |            |
| 理事会             | 1310 教室    |
| 学会賞選考委員会        | 1301 教室    |
| 庶務委員会           | 1302 教室    |
| 国際委員会、編集委員会     | 1303 教室    |
| 情報化委員会、プログラム委員会 | 1304 教室    |
| 男女共同参画・若手支援 WG  | 1305 教室    |
| クローク (13 日)     | 1309 教室    |
| クローク (14・15 日)  | 1301-02 教室 |
| 会員休憩室 (13 日)    | 1310 教室    |
| 会員休憩室 (14・15 日) | 1312 教室    |

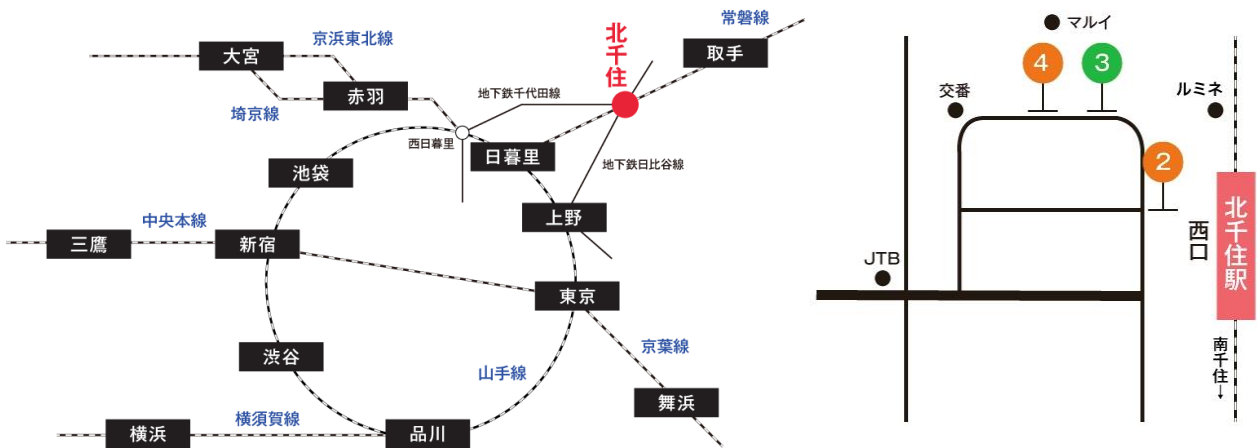


|       |         |
|-------|---------|
| 第10部会 | 1404 教室 |
| 第11部会 | 1402 教室 |
| 第12部会 | 1401 教室 |
| 第13部会 | 1405 教室 |

書籍販売 1407 教室、エレベーターホール等

大会実行委員会本部・学会本部 第4会議室

一案内図一



JR 常磐線

東京メトロ千代田線・日比谷線

つくばエクスプレス

東武スカイツリーライン（東武伊勢崎線）

「北千住」駅下車

北千住駅 西口 バス乗り場2・3・4番をご利用ください

2番乗り場 北01

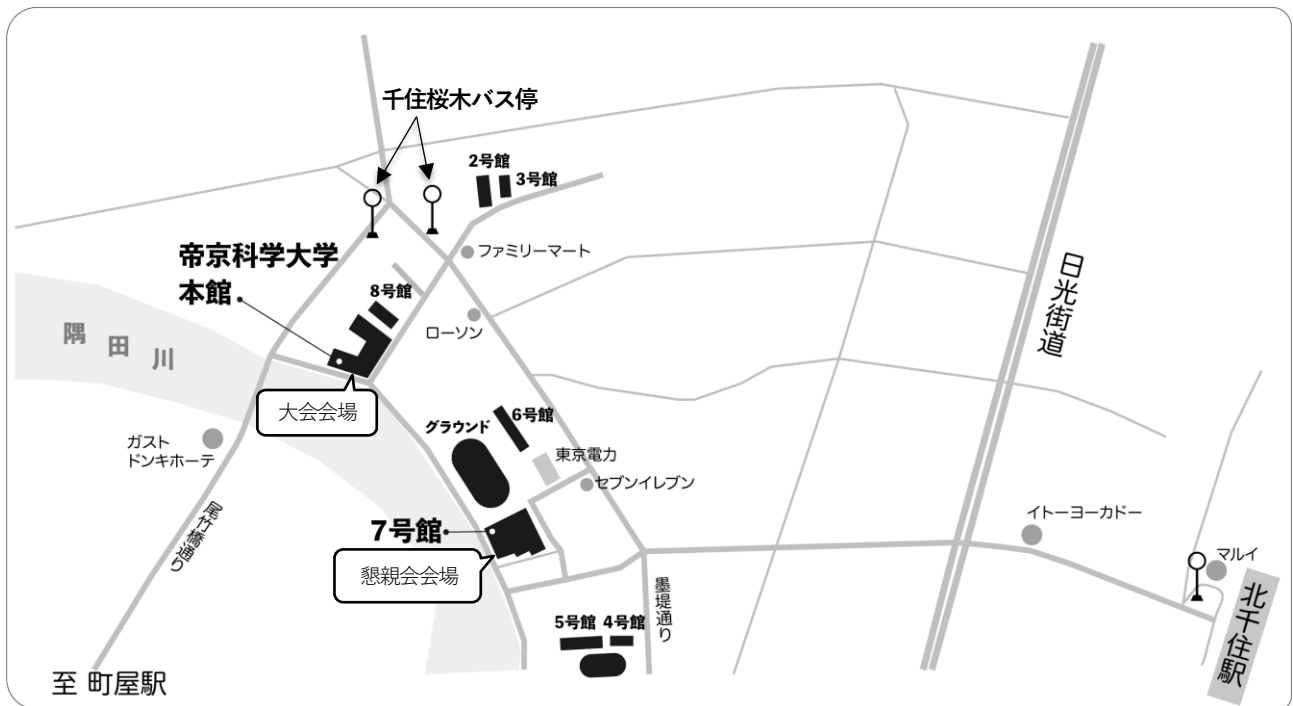
3番乗り場 端44 王45

4番乗り場 北02 北03 北04 北05

「千住桜木」バス停下車（所要時間は10分程度）



交通アクセス  
詳細QRコード



日本宗教学会

第78回学術大会 実行委員会事務局

〒120-0045 東京都足立区千住桜木 2-2-1 帝京科学大学内

E-mail : jars78th@gmail.com HP : <http://jpars.org/conference/>